

# 創薬産業BL成果発表会記念シンポジウム

日本製薬工業協会の蛋白質構造解析コンソーシアム (<http://www.pcprot.gr.jp/>) が SPring-8に建設した創薬産業BL (ビームライン) の成果発表会の開催を記念し、最近のタンパク質構造解析の手法を紹介するため、シンポジウムを開催します。

テーマ：**最近の実践的構造解析手法の実際**  
～SAD法 (単波長異常分散法) を中心として～

日時：平成17年12月1日 (木) 13:30～20:00

講演会 13:30～17:45

意見交換会 18:00～20:00

場所：新大阪ワシントンホテルプラザ

講演会：2階 紅梅

意見交換会：2階 桜

参加費：無料 (講演会、意見交換会ともに)  
定員100名 (先着順)

主催：蛋白質構造解析コンソーシアム  
SPring-8利用推進協議会  
後援：財団法人高輝度光科学研究センター  
日本製薬工業協会

## プログラム

13:30～13:35 開会の挨拶 蛋白質構造解析コンソーシアム代表 西村 憲治

13:35～14:40 University of Georgia 教授 Bi-Cheng Wang  
演題；Progress on Cost-Effective High-Quality Structure Determination

14:45～15:40 理化学研究所播磨研究所チームリーダー 国島 直樹  
演題；構造ゲノム推進のための自動結晶構造解析ソフトの開発

15:45～16:40 名古屋大学工学研究科 助教授 鈴木 淳巨  
演題；SAD法はどこまで使えるか？

16:45～17:40 北海道大学大学系理学系研究科 教授 田中 勲  
演題；ネイティブタンパク質を使う構造解析

17:40～17:45 閉会の挨拶 SPring-8利用推進協議会

# 蛋白質構造解析コンソーシアム成果発表会

蛋白質構造解析コンソーシアム (加盟21社) は、2002年9月から本格的にSPring-8の創薬産業BLを利用しています。構造ゲノムプロジェクトの進展に伴う基盤技術も活用しながら、我が国の製薬企業が世界最高の性能を備えたSPring-8を利用できることは大変幸運です。製薬会社の創薬プロセスにタンパク質構造情報は有効に利用されつつありますが、創薬産業BLを利用した研究成果の8割程度は成果専有として非公開です。しかし、最近、創薬産業BLを利用した研究成果が加盟数社から公開されつつあります。本成果発表会ではその一端を紹介いたします。

日時：平成17年12月2日 (金) 13:30～16:30

場所：SPring-8普及棟・大講堂

参加費：無料  
定員100名 (先着順)

主催：蛋白質構造解析コンソーシアム  
後援：財団法人高輝度光科学研究センター  
SPring-8利用推進協議会

申込先：蛋白質構造解析コンソーシアム事務局 (担当：西田) [ynishida@spring8.or.jp](mailto:ynishida@spring8.or.jp)